

FD・SDワークショップ

「これからの授業外学習支援を考える ―九州大学附属図書館の活動事例を通して―」
(文部科学省教育関係共同利用拠点事業)

関係各位

九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

このたび、以下の通り、FD・SDワークショップ「これからの授業外学習支援を考える ―九州大学附属図書館の活動事例を通して―」を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

【趣旨】

大学は学びの空間をどう設計していけば良いのでしょうか。特に、学生の能動的な学びや授業外学習をどのように促進していくべきか、が大学教育に問われています。近年では、学生のより良い学習の実現に向けて、授業外においてもレポート作成やプレゼンテーション準備などのアカデミックスキル支援に取り組む大学が増えています。そして、その担い手がピアサポーターやTAになることも一般的になりつつあります。このような学生による学生のための授業外学習支援は様々な可能性を持つ一方、質保証や運営上の課題も忘れてはなりません。

今回のFD・SDワークショップでは、九州大学附属図書館での実践事例に関して情報共有し、ピアサポーターやTAを通じたこれからの授業外学習支援の可能性や課題について探ります。前半の講演では、九州大学附属図書館伊都図書館の野原ゆかり氏に、伊都図書館で実施されているアカデミックスキル支援の概要と携わる大学院生の成長、そして、活動をマネジメントする職員の学びについてご紹介頂きます。後半のワークショップでは、授業外学習支援の事例や課題、ピアサポーターやTAへの指導内容に関する情報共有・意見交換を行います。

【日時】 平成30年1月19日(金) 14:30～16:30

【会場】 九州大学 伊都キャンパス 新中央図書館アクティブラーニングスペース

http://www.kyushu-u.ac.jp/f/30068/Ito_jp-2017.pdf

※上記キャンパスマップのイーストゾーン80番です。

【定員】 30名(先着順)

【参加費】 無料

【対象】 ピアサポートや授業外学習の促進にご関心のある大学教職員、学生

【プログラム】

14:30～15:30 九州大学附属図書館の実践事例に関する講演 **【60分】**

講演タイトル:

大学図書館における授業外学習支援の取り組み—九州大学の図書館TA(Cuter)の挑戦
「九大らしい自ら学び続ける人の育成」—

講師:野原ゆかり(九州大学 附属図書館 伊都図書館)

15:30～16:30 これからの授業外学習支援を考えるワークショップ **【60分】**

【参加申込】 <http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~cfde/form/#form20180119>

ウェブサイト内の申込フォーマットにてお申し込みください。

【締切】 1月15日(月)17:00 (ただし、定員に達し次第、受付を終了します。)

【注意】当日は報告書等利用のための写真・動画撮影を行います。予め、ご承知おき下さい。

【問い合わせ先】

九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

Tel:092-802-6070 Mail:kyoten★artsci.kyushu-u.ac.jp(★を@に置き換えて下さい。)

(タイトルに【1/19 図書館 FD】と記載して頂けますと幸いです。)

*平成28年7月に、九州大学基幹教育院は「教育関係共同利用拠点」として文部科学省から認定され、その実施組織として「次世代型大学教育開発センター」を設置いたしました。教育関係共同利用拠点とは、多様化する社会と学生のニーズに応えつつ質の高い教育を提供していくために、各大学の有する人的・物的資源の共同利用等を推進するものです。

(http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigakukan/1375506.htm)

以上